

細胞の種類	処理方法	細胞数・品質等	提供形態 ・全て凍結保存してある細胞材料	利用可能分野
有核細胞： HES試料 (HCB)	HES法にて有核細胞を分離回収	細胞数は、 3×10^8 個以上/ バッグ（目安）	細胞をいれたプラスチックバッグがキャニスターに入った状態です。 	臨床用臍帯血移植と同じ処理法で回収した細胞 ● 造血幹細胞移植研究 ● 様々な細胞分画の取得 など
単核細胞： フィコール試料 小容量 (CBF) 大容量 (CFD)	フィコール法にて単核細胞を分離回収	凍結時好中球20%以下 小容量(CBF)： 細胞数は、 1×10^7 個程度/ 本（目安） 1セット4本にて提供 大容量(CFD)： 細胞数は、 1×10^8 個程度/ バッグ（目安）	小容量：チューブ入り  大容量：細胞をいれたプラスチックバッグがキャニスターに入った状態です。 	● 血液・免疫研究 ● 再生医療研究 ● 感染症研究 ● 遺伝子治療研究 ● ヒト化マウスの作成を介した研究 ● ヒトゲノム・遺伝子解析研究 など
CD34陽性細胞 (C34)	磁気ビーズ法にてCD34陽性細胞を分離回収	CD34陽性率は、90%以上 解凍後の細胞数は、 1×10^5 個以上/本（目安）	チューブ入り 	● 造血幹細胞移植研究 ● 血液分化の研究 ● 再生医療研究 ● iPS細胞のソース など